

オフホワイト 2回仕上げ

厚塗 スペイン本漆喰塗り壁 グラフェンストーン

室内用マニュアル（グラフェン 2010 年（ノーベル化学賞受賞）入り）

【オフホワイト色 （着色無）】

施工書

*準備 道具



コテ、水 水バケツ、アクトメール（専用指定）

コンタック（プラスチック下地用）

大バケツ用 攪拌機

大きな流れ（石膏ボード下地として）

- ・クロス/木部との境目処理
見切り コーキング
- ・合板下地/Mクロス面/ジュラク壁に アクドメール塗布&乾燥（必要に応じて）
- ・ツルツル下地（R コーナー部材等）へ、コンタック塗布&乾燥
- ・出隅/入隅/ボードカット部分/V溝へ メッシュテープ貼り
- ・現場 ： 塗膜厚み基準テープ貼る 3～4mm（目印）養生として
- ・材作成（現場にて）
 - ・4L 缶かくはん（無理な場合 ヘラまたは綺麗な棒で 大きなバケツへ入れる）
 - ・大きな缶へ入れる
 - ・粉混ぜる（約半分）
 - ・攪拌 2～3 分
 - ・水量測る ⇒加水
 - ・粉混ぜる
 - ・攪拌 約 3 分
 - ・15 分寝かせる
- ・塗布
 - 2 回塗り
 - 2mm塗布
 - 12～24 時間乾燥（色濃い所無くなる事確認）
 - 2mm塗布（仕上げ）
 - 乾燥終了

1・境目（つなぎ目）処理

・木カウンターの境目

無垢カウンターの場合 塗壁後にカウンターを取り付けして頂けると木の収縮でひび割れ発生しにくくなります。無理な場合 木の収縮に対応可能なコーキングを刺して頂けると助かります

・クロスとの境目

クロス接合面 コーキング刺して頂けるとクロス収縮の割れに適応可能になります
す または見切りをお願いします

*室内 クロスとの境目には フクビの見切りをお勧めします

・無垢木製縁との境目

*木製縁の場合もクロス同様 収縮に対応可能なコーキングを御願い致します

・ベニヤ 合板の上

合板の確実にヤニ吸収します、
アクドメールを必ず塗ってから グラフェンストーン塗布をお願いします
カウンター ドア枠 樹種乾燥具合によって大丈夫ですが 十分ご注意ください

2. 下地に応じて アクドメール塗布

合板/ Mクロス /ジュラク壁 /クロス下地 / マジック文字がある場合
フジワラ化学 「アクドメール」を全面に塗布 約1日乾燥

*アクドメール限定



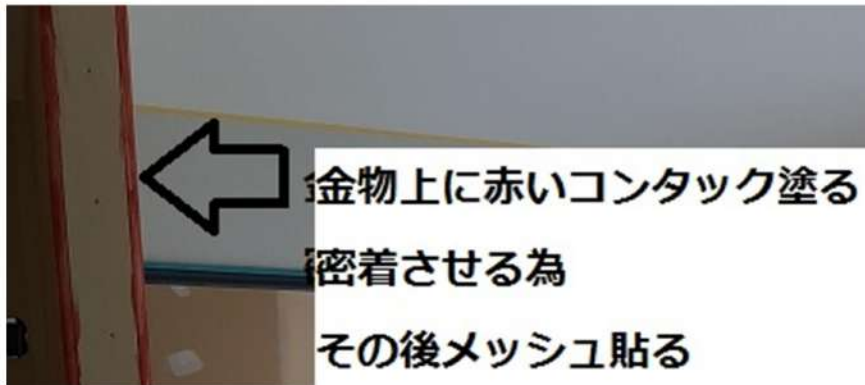
ホームセンター / ネット等で購入可能

4L 缶 約 20 m²塗布可能

これ以外を使用するとグラフェンストーンが下地のアクを吸い込み色が出てきます

3. 特殊下地（ツルツル）

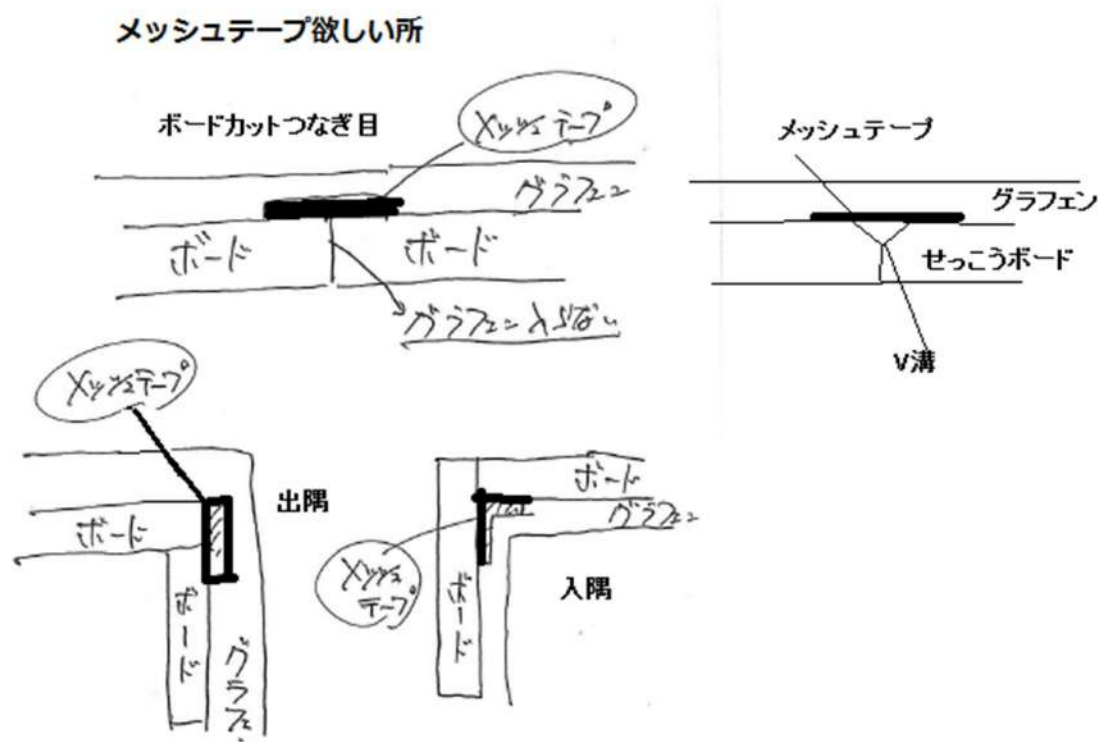
出隅 入隅に R 金物がある場合



コンタック塗らないと 剥がれるので注意

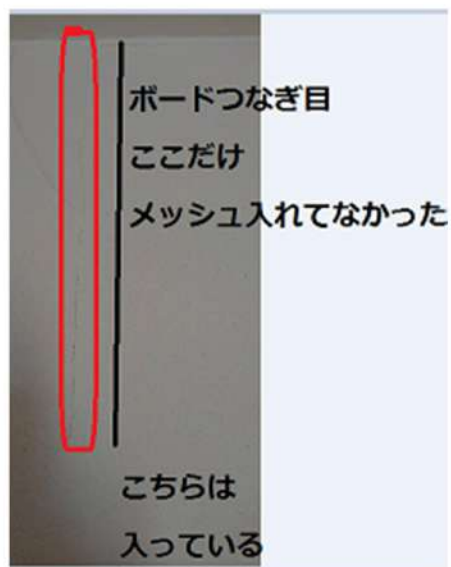
その後メッシュ貼りになります

4. メッシュ貼り (施工しながらでも OK)



貼り過ぎても大丈夫です

- ◆入隅出隅に貼りたくない方いらっしゃいますが、貼らないと、引っ張りあいで 亀裂発生しますので 何卒貼ってください よろしくお願ひ致します



← 「貼らないと割れやすくなる」

5. 【現場厚み確認用 基準テープ貼り 養生】

1) 厚み確認の為に 養生テープにて基準

塗り厚基準の為 枠等にテープを貼り 3mm部分にテープ貼り



6. 塗り材グラフェンストーン作成

○道具 & 準備

- ・ペール缶攪拌用 小攪拌機（インパクト攪拌機）または綺麗な棒
- ・四角金鏝（万能コテ小さいので大変です）
- ・計量カップ 1L～500mL（下塗り 500mL / 上塗り 300mL 以下の方多くなりました）

【重要項目】



計量カップ



（これで大丈夫だろうと思う
と失敗します）

6-1 加水 水の量（最重要項目 割れ/表面の凹凸に関係）

500mL 以下 厳守（割れ、ひび割れに繋がります）

水（H₂O）は、かくはんの為だけに使用します 水が多いと水を塗っている事になります。仕上げ後スカスカの塗り壁になりますのでご注意ください



毎回確認必要

6-2 塗膜厚み 厚塗り厳守

乾燥後、総仕上げ 2mm～5mm厚み

*施工最中 2mm塗っても 1mm沈みます 乾燥後 1mmになります（水無くなる為）

・2回塗りの方 1回目 1.5mm程度以上塗ってください（下塗り）

薄いと翌日メッシュテープ見えます

2回目 1.5mm程度塗ってください

■乾燥後 仕上げ塗膜 1.5mm未満は （グラフェン技術低下）

*透けます

*割れ、ひび割れ発生します

	最終乾燥後	施工時（合計）
厚み	2～3mm	4mm

・水の量が多い または 薄過ぎる場合 グラフェンが無い状態と同じで割れます



*市販パテ 使用禁止です （グラフェンストーンで目地埋めお願いします）

グラフェン技術は接着材の代用にも可能

パテを吸収分解します（染みになります）

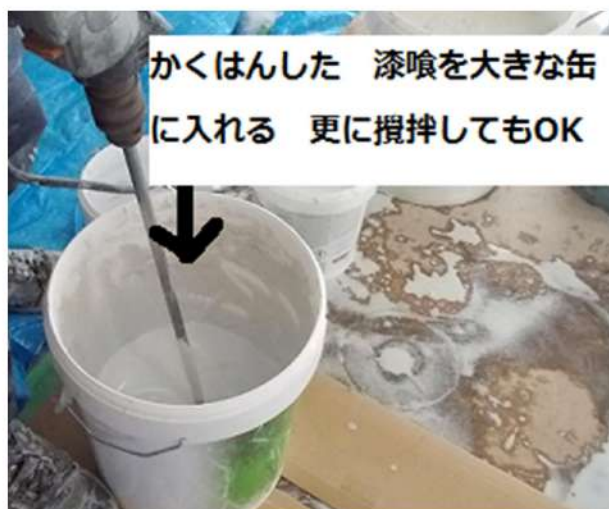
6-3 【 ペール缶を攪拌 と紙袋を混ぜて攪拌】

グラフェンストーン作成 (現場攪拌)

***4L ペール缶内の攪拌** (本漆喰下に沈殿しています) 約 1~2 分

水を捨てずにペール缶内を攪拌します (結構かかります)

*攪拌難しい方は ヘラで 大きなバケツへ移動してから攪拌してください
必ず、残さず全て移動してください (厳守)



***石灰岩を 混ぜる (紙袋内)**

石灰岩の袋を開けて 漆喰の入っている
大きな缶へ入れる



全部入れるとその後攪拌大変ですので 半分または 70%程度でも OK

【加水 0mL～500mL 重要】

- *攪拌を行う ある程度になったら 最後の石灰岩を入れて、水 0mL～最大 500mL 入れて 最後のかくはん
- 計量した水を、空いた4L缶に付着している漆喰を流しながら入れると効率が良い
- 水 500mL 入れてしまうと、仕上げデザインある場合やりにくくなります



軽量カップを用いる事

おおよそ 3分攪拌

- ・ 完成後 10～15 分寝かせるとなじみます



コテ板に載せても水が見えない
のが良い

廻りに水が見える様ですと 水多い

7-1、1回目（下塗り）塗布 全面

*V溝/ボードカット溝/入隅出隅へメッシュを貼ってから

塗膜 1.5mm程度 塗布 （乾燥後 1mm程度になります）

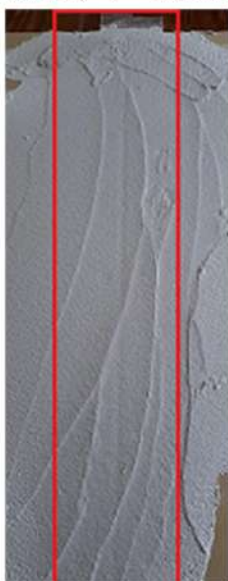
「コテ音 ジャリジャリっと鳴らない程度に厚みを持たせる」

12時間～24時間乾燥（水分蒸発させる） 気温/空気の流によって乾燥時間変わります



乾燥後 V目地部分 ビス頭部分凹みます（通常です）

仕上げて 表面高さ調整お願い致します



7-2 2回目 (仕上げ)

- 1) 乾燥後 仕上げ塗り (デザインをつける場合ここから 2mm厚以上 合計 5mm 以下でお願い致します)
- 2) 薄く塗ると、下地メッシュテープ見える場合がありますので (水分蒸発後) 厚くお願いします
この場合 メッシュ部分が 「モコと盛り上がる場合があります」

#乾燥

- ・完全乾燥には 約 1 週間かかります
最初 V 目地ラインが見える (厚みと水分の関係) 場合がありますが
乾燥して行くと消えて行きます

#終了

8. 【仕上げ方法 一例】

仕上げ スポンジ ウェーブ

*ブラシ仕上げ (スポンジ仕上げ)

*ウェーブ仕上げ等ありますが

工業製品塗壁と違い 多くの形状難しい事ご理解ください (表面乾燥早い)



表面乾燥 1日（気温高いと早い 低いと2日間程度かかる）

完全乾燥 1週間程度かかります

9. 保管方法

・ 使用後余ったグラフェンストーン

缶に入れたまま 「キッチンラップ」を材の表面へくっ付けてください

空気に触れると硬化します 空気層が有る場合、水分がラップにくっつき抜けてしまい 硬化し再使用出来なくなる場合があります バケツ蓋（ふた）をしっかりと保管してください

水を入れないで 保管をお願いします 再使用时再度攪拌をお願いします



・ 未開封品

気温 4℃以上での保管を御願い致します（直射日光下の保管NG）

漆喰 4L 缶を凍らせてはいけません 使用出来なくなります

凍った場合再度ご購入をお願いします

10.その他 ■1回塗り（推奨していません）

全て1発でも構いませんが

- ・ V目地 カットつなぎ目 ビス頭 入隅出隅へメッシュ
- ・ 確実に施工 4mm程度の塗布お願い致します ⇒乾燥後終了

この場合 メッシュ部分が 「モコと盛り上がる場合があります」
テクスチャーお願い致します

通常の 1.5 倍 4mm程度の塗膜が必要です

施工された物件あります 不陸でご苦労された様子です

11. 【こんな事例】

*薄く塗ってしまい、仕上げ0.5mm なんと塗っても パテあとが透けて見える (厚み不足)

*薄く仕上がり、メッシュ部分が厚く 平面が薄い

*入隅へメッシュテープ貼り忘れの為 その部分だけ綺麗にヒビ:

剥がしてメッシュ&再塗布または ヒビの上から厚塗りで固める

*塗膜薄く、加水過大 クロス境目 カウンター境目ひび割れ:

室内が極端に乾燥しても同様の現象あり

先を見越して 見切り等廻して置く事も策の一つになります

*コーキング策もあります

*M クロス ベニア板上へのシーラー乾燥前に塗布し、シーラーを吸ってしまう
(色が出る)

アクドメール塗布 24時間乾燥 ⇒ 対象面を含むその壁一面塗布で対処

・パテの上から直接グラフェンストーンを塗ってしまった

パテを吸収 ライン発生 ⇒アクドメール塗布 24時間乾燥 ⇒ 対象面を含むその壁一面塗布で対処

*ジュラク壁 土壁へ市販のシーラー塗布後 作業し、アクが前面に発生⇒

アク止めには アクドメールご使用ください

*石膏ボードへマジック跡ある場合、アクドメール塗布またはマジックを剥がしてください そのまま出ます

*間違って パテをしてしまった: アクドメールを塗布 完全乾燥後通常に作業お願いします

*石膏ボードにマジックで書いてしまった: アクドメールを塗布 完全乾燥後作業お願いします (マジック出てきます)

11.【動画】

YOUTUBE（ユーチューブ）へ動画も用意しています。是非ご確認ください

・ 攪拌 攪拌 2 石灰岩入れる バケツ攪拌 加水後攪拌



前日作成（かくはん）



1回目塗り



仕上げ塗り



ウエーブ仕上げ



2022-03 月(株)JCT REV15-オフホワイト